

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 047	提案機関名 農業技術センター 三浦半島地区事務所
要望問題名 規模拡大に伴う三浦半島における経営指標モデルの作成	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 三浦半島では、平成12年から平成22年までの10年間で、管内の0.5ha未満規模の農家数は約70%減少する一方で2ha以上規模の農家は、約1.5倍へと増加している。このような農地集約による規模拡大傾向は、今後、加速すると思われる。 こうした状況から、雇用労力を導入し規模拡大を行い経営改善を図っていく農家の指標として、経営規模2ha以上の規模別三浦型野菜（秋冬ダイコン、冬キャベツ、春キャベツ）の経営指標が必要となっている。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) かながわの農業経営を安定強化するための調査研究			
対応の内容等 現在の三浦型野菜経営の指標は、経営規模1.5ha(年間作付け面積3.5ha)を前提としています。 経営規模2ha以上となると家族経営の限界を超えることから、経済性指標作成にあたっては、雇用労力を前提とした新たな経営類型を設定し、品目毎の標準栽培体系を構築する必要があります。これについては、次回の作物別・作型別経済性指標一覧の改訂(2018年)に向け、検討します。 なお、標準栽培体系を構築するためには、事例収集が必要となりますので、情報の収集及び提供につきまして、協力をお願いします。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			